



2023年6月19日

各 位

会 社 名 クリエイト株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉成 隆則
(コード番号：3024 東証スタンダード)
問い合わせ先 管理本部長 五十嵐 昭彦
(TEL 06-6538-2333)

上場維持基準への適合に向けた計画書に基づく進捗状況

当社は、2021年12月17日に、新市場区分（東証スタンダード市場）の上場維持基準の適合に向けた計画書（以下、「適合計画書」）を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の移行基準日（2021年6月30日）時点においては、スタンダード市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」「流通株式比率」の基準を満たしておりませんでした。その後、計画書に基づき改善を実施してまいりました結果、2023年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の全ての項目で基準に適合いたしました。

| | | 株主数 (人) | 流通株式数 (単位) | 流通株式 時価総額 (億円) | 流通株式比率 (%) |
|------------------------|-----------------------|------------|---------------|-------------------|---------------|
| 当社の状況 及び その推移 | 2021年6月末時点 (移行基準日) | 3,090人 | 9,842単位 | 6.2億円 | 24.7% |
| | 2023年3月末時点 | 3,915人 | 16,049単位 | 12.7億円 | 40.4% |
| 上場維持基準 | | 400人 | 2,000単位 | 10億円 | 25% |
| 2023年3月末時点 適合状況について | | 適合 | 適合 | 適合 | 適合 |

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価（2021年12月～2023年3月）

当社は、上場維持基準への適合に向けて、（1）企業価値の向上、（2）流通株式比率の向上を基本方針として、「流通株式時価総額」「流通株式比率」の改善に取り組んでまいりました。計画書に基づき、具体的な取組みの実施状況は次の通りです。

（1）企業価値の向上（株価の上昇）

当社のコア事業である管材事業において、商品価格の上昇を速やかに販売価格に転嫁することに取り組ましました。また、子会社ダイドレ（以下、ダイドレ）の主力商品であるMD継手の販売、鋳物から樹脂ヘニーズが高まっている高機能商材の対応、取扱メーカーを拡大しての住宅設備機器類の販売、施工を付加価値とした材工一体の販売営業等を強化した結果、ダイドレ商品並びに耐火二層管や重点拡販商品である塩ビ商品等の売上が想定を上回り、利益を押し上げることができました。結果、業績や配当の上方修正を公表することができ、株価の上昇に繋がりました。

（2）流通株式比率の向上（流通株式数の増加）

主要株主である当社従業員持株会の縮減について、持株会会員に協力を依頼してまいりました。その結果、2022年9月時点で持株数390,774株、持株比率9.88%となり、当社従業員持株会の株式は流通株式の扱いとなりました。

3. 今後の課題と取組みの内容

当社は全ての上場維持基準に適合いたしましたが、株価は現在PBRが1倍割れの状況で推移しておりますので、今後もさらに株価水準の向上を意識した取組みを続けてまいりたいと考えております。

当社は、水に関わりのある管工機材分野を中心として事業を展開してきましたが、これまで以上にお客様の要望にお応えし、成長していくためには、管工機材にとらわれず事業領域を拡大することが必要不可欠と考えております。そのために、新たな分野に挑戦し、次世代の柱となる事業の発掘に努めるとともに、更なる企業価値の向上を目指します。

また、流通株式数の増加（流通株式比率の対策）に関する取組みについては、従業員持株会に加え取引先持株会に対しても進めております。取引先持株会の発足当初（2006年8月発足）は、取引先様との関係強化、安定株主の確保を目的としておりましたが、東証市場再編による上場維持基準の変化に伴い、当社株式を保有する取引先持株会会員に対し投資方針等についてご再考いただくことで、流通株式数の改善を実施してまいります。

以上